

エコアクション21 平成29年度環境活動レポート

(対象期間 平成28年10月～平成29年9月)



平成29年12月1日



株式会社
奥平測量設計事務所

I. 事業概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 奥平測量設計事務所
代表取締役 奥平 慎太郎

2. 所在地

〒426-0071
：静岡県藤枝市志太4丁目10-24

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 奥平 慎太郎
担当者 河合 敦子
TEL 054-643-7312
FAX 054-644-6661
(e-mail:a_kawai@oku-surv.com)

4. 事業の内容

測量業、建設コンサルタント業務

登録	測量業
登録番号	(5)-24316号
有効期限	平成28年11月14日～平成33年11月13日
登録	建設コンサルタント
登録番号	建25-7834号
有効期限	平成25年5月16日～平成30年5月15日

5. 有資格者

- ・技術士（森林土木） 2名
- ・測量士補 3名
- ・RCCM 3名
- ・一級土木施工管理技士 2名
- ・測量士 3名

(平成29年12月1日末)

6. 事業規模

会社設立年月日：昭和44年11月7日 社用車：3台
売上高：46百万 受注件数：28件
延床面積：125 m²
従業員：9人

7. 事業年度 10月1日～翌年9月30日

8. 対象範囲 株式会社 奥平測量設計事務所：全組織、全活動

Ⅱ. 環境方針

株式会社 奥平測量設計事務所

[基本理念]

株式会社奥平測量設計事務所は、建設コンサルタント（主として森林土木部門）業務を通じて地域社会との相互信頼を深めると共に、地球環境保全の重要性を認識し、今できる様々な環境負荷を低減し、未来へ続く社会の形成に貢献します。

[基本方針]

株式会社奥平測量設計事務所は、基本理念に基づき以下の基本方針を定め、積極的に取組めます。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
2. 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます。
3. 環境に配慮した設計の提案に努めます。
4. 環境関連法令等を遵守致します。
5. 環境への取組を適切に実行するために社員教育及び訓練を実施します。
6. 環境活動レポートを公表し、地域社会及び現場でのコミュニケーションを図ります。

社内においては、全社員にこの環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組を展開します。

制定：平成25年8月1日

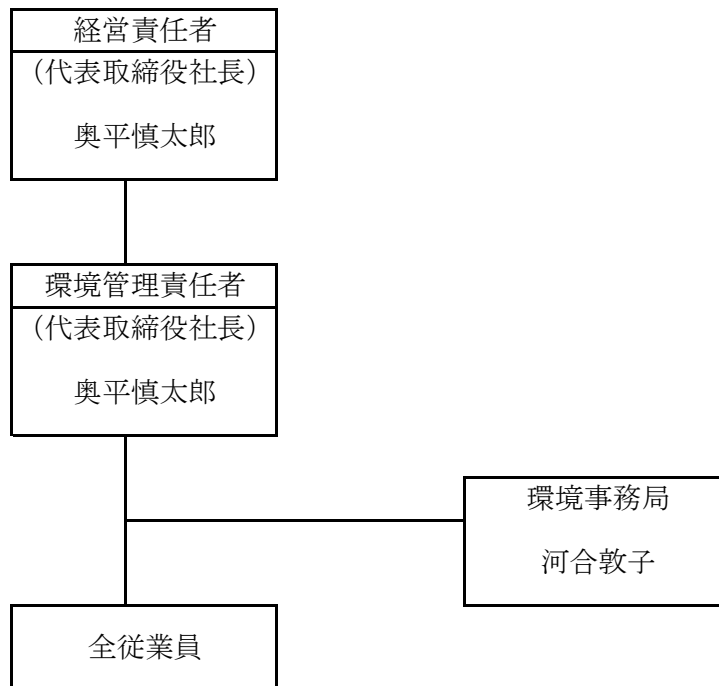
株式会社 奥平測量設計事務所

代表取締役 奥平慎太郎



Ⅲ. 実施体制

環境管理組織図



職名	役割・責任・権限
代表取締役 環境管理責任者 (代表者が兼務)	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の決定、制定、改定及び全社員への周知 環境レポートの承認 全体計画の立案 全体の評価と見直し 環境経営全般に対する責任と権限 環境活動全般の実施、運用管理 環境レポート等文書作成のチェック、改訂の指示 苦情対応、緊急時対応の指示 社内教育の実施（教育訓練）
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21における文書の作成 環境負荷のチェック、取組の自己チェック 環境活動レポートの作成 システム運用上の事務管理全般
全社員	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ実施 事務所温度管理 水使用量削減 紙使用量削減及び再利用 クールビズ・ウォームビズの実行 廃棄物の管理、削減

全活動、全社員で実行

IV. 環境目標（単年度及び中長期目標）

環境目標項目		環境目標値				
		基準年	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素の排出量 (kg-CO2) ※1	9401	9305	9210	9115	9022
	基準値		-1%	-2%	-3%	-4%
	電力使用量の削減 (kwh)	7443	7368	7294	7219	7145
	基準値		-1%	-2%	-3%	-4%
	ガソリン使用量の削減 (L)	2368	2344	2320	2296	2273
	基準値		-1%	-2%	-3%	-4%
	灯油使用量の削減 (L)	82	81	80	79	78
	基準値		-1%	-2%	-3%	-4%
	廃棄物排出量の削減 (kg)	263	260	257	255	252
	基準値		-1%	-2%	-3%	-4%
水使用量の削減 (m ³)		53	52	51	51	50
	基準値		-1%	-2%	-3%	-4%
グリーン購入 (%)		64	65	66	67	68
	基準値		+1%	+2%	+3%	+4%
環境に配慮した設計の提案 (%) ※2		100	100	100	100	100
環境保全活動の実践 (件) ※3		1	2	2	2	2

※1 温室効果ガスである二酸化炭素の排出量の算出には、中部電力のH26実排出係数0.497 kg-CO2/kwhを使用

※2 環境に配慮した設計の提案については、評価項目としては最も重要であり、100%を目標とし、内容の充実を図りたい。

※3 環境保全活動の実践については、年2回を目標とし、内容の充実を図りたい。

※4 平成29年度とはH28.10～H29.9とする。

※5 基準年は、平成26年度の実績とする。

V. 環境活動計画

平成28年 10月～平成29年 9月

環境活動目標		具体的取組内容	担当者
二酸化炭素排出量の削減	電気	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの使用時間について 夏場の終業時間前30分は、冷房から送風に切り替える。 ・クールビズ・ウォームビズの励行 室内温度をチェックし、個人で調節し対応するよう心がける。 ・グリーンカーテンの設置 室内が涼しくなるように、かつ安全な場所に設置位置を変更する。 ・ unnecessary 電気の消灯 階段の電気の消し忘れあがるので、声かけをして注意する。 ・夏場のポットの使用時間を短くする。 	増田
	ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客との打合せに赴く場合は、旅程方向（場所）に合わせて社員同士で日程調整を行い、社用車の使用削減に努める。 ・車内の見える所にタイヤのエアチェックの注意喚起表示を行う。 ・毎月の走行距離を記録し、燃費チェックを継続する。 	福島
廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル、カン、古紙、ダンボールなどを適切に分別し、回収業者へ処理する。 ・ウラ紙の使用や両面コピーに努め、紙の廃棄量の削減に努める。 ・土木用資材カタログ等の整理。 unnecessary なものは処分し、金具と紙を分別する。 ・共有ネットワークでデータでの有効利用。CADソフトの統一等により作業時間の短縮に繋げたい。 	河合
水使用の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・電気ポットに無駄な給水はしないよう心掛ける。 ・こまめな節水に努める。 	池田
グリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ・継続して資材や消耗品の購入時にはグリーン購入に配慮する。 	奥平
環境保全活動の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動を継続して続けたい。 ・森林保全活動等（間伐、下草狩り）のボランティアに参加したい。 6月～9月を目処に計画したい。 	奥平 河合
環境に配慮した設計		<ul style="list-style-type: none"> ・重機搬入や材料運搬計画では、原地形を大きく改変して二次災害の発生や環境破壊につながらないように、現地に適合した施工計画を提案する。 ・業務の作業効率を向上させる努力（密な進捗状況の報告、無駄な作業の削除）を心掛ける。 	池田 福島

VI. 環境目標の実績

環境目標項目	H26年度	H29年度		達成率 (実績/目標) × 100	評価 ○、△、×	
	基準年度	目標	実績			
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素の排出量 (kg-CO2) ※1	9401	9115	8981	98.5	○
	基準値	-3%	-			
	電力使用量の削減 (kwh)	7443	7219	6965	96.5	○
	基準値	-3%	-			
ガソリン使用量の削減 (L)	2368	2296	2254	98.2	○	
基準値	-3%	-				
灯油使用量の削減 (L)	82	79	115	145.6	×	
	基準値	-3%	-			
廃棄物排出量の削減 (kg)	263	255	293	111.4	×	
	基準値	-3%	-			
水使用量の削減 (m ³)	53	51	63	123.5	×	
	基準値	-3%	-			
グリーン購入 (%)	64	67	60	89.6	×	
	基準値	+3%	-			
環境に配慮した設計の提案 (%) ※2	100	100	100	100	○	
環境保全活動の実践 (件) ※3	1	2	1	50	×	

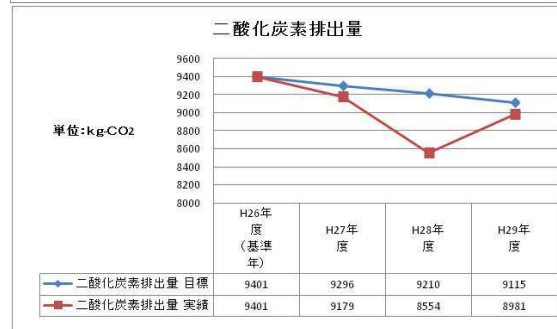
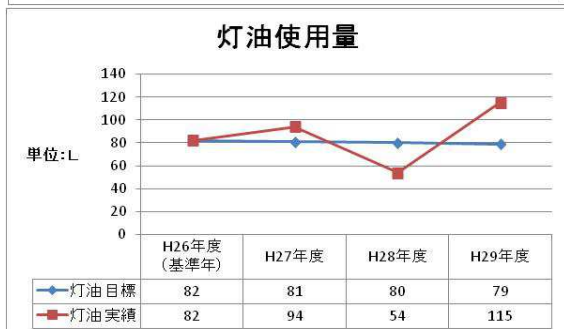
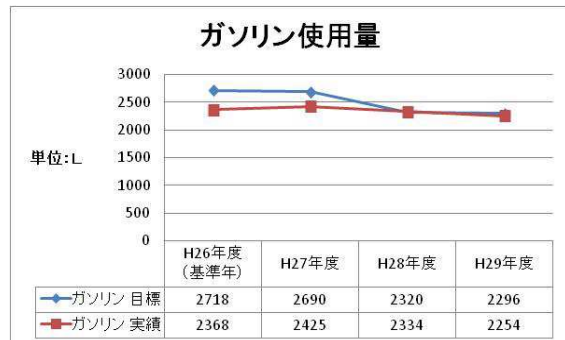
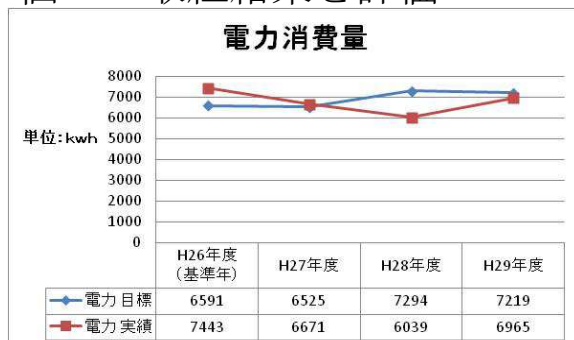
※[評価の定義] ○：達成できた、△：もう少し、×：未達成

※1 温室効果ガスである二酸化炭素の排出量の算出には、中部電力のH26実排出係数0.497 kg-CO2/kwhを使用

VII. 環境活動の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

平成28年 10月～平成29年 9月

・個々の取組結果と評価



環境活動目標		取組結果	評価
二酸化炭素排出量の削減	電気	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの使用時間について ・クールビズ・ウォームビズの励行 エアコンの温度管理は、意識できるようになったが、使用時間についてはもう少し継続して取り組みたい。	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンの設置 設置位置を変更し、適切に取り組めたと思うので継続していきたい。	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な電気の消灯 ・夏場のポットの使用時間を短くする。 常に全員で意識できるよう注意喚起していきたい。	×
	ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> ・最短ルート、最安ルートについては、よく調整ができたと思う。タイヤのエアチェックについては、できなかったので継続して取り組みたい。 	△
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の走行距離を記録し、燃費チェックを継続する。 燃費計算の結果、H26年度は12.34 k m/L、H29年度は13.50 k m/Lとなった。基準年よりも燃費が良くなっており継続していきたい。	○
廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル、カン、古紙、ダンボールなどを適切に分別し、回収業者へ処理するは、社員全員で取り組めたと思います。 ・紙の廃棄量の削減も、全員で取り組めたと思います。 	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・カタログ等の整理は、できなかったので次年度の課題としたいです。 ・CADソフトの統一にも取り組めなかったので次年度の課題としたい。 	×
水使用の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・電気ポットに無駄な給水は、もう少し改善の余地があると思う。余ったお湯の有効利用について、考えたい。 	△
		<ul style="list-style-type: none"> ・水使用量が今年度増えたのは、H28.10月～12月の3ヶ月間でトイレの水道の不具合が原因と考えられる。修理後の水使用量に変化はない。 	×
グリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ・購入時には、継続してグリーン商品に配慮できた。目標より%は低かったが、新しい業務に必要な消耗品がグリーン商品でなかったためと思われる。 	×
環境保全活動の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動を継続できた。 ・森林保全活動等（間伐、下草狩り）のボランティアに参加できなかった。 	×
環境に配慮した設計		<ul style="list-style-type: none"> ・施工計画においては、施工方法、施工順序を考慮し、原地形を大きく改変することのないよう、現地に適合した掘削計画、現場内道路、コンクリート打設計画の概略施工計画及び資材運搬方法を立案した。 ・発注者側との打合せを綿密に行う事により、早期に基本的な設計方針を明確にし、作業の効率化に努めた。 	○

・次年度取組内容

環境活動目標		次年度取組内容	取組時期
二酸化炭素排出量の削減	電気	・エアコンについては、常に全員で意識できるようになり良い結果が数字で表れている。引き続き使用時間と温度設定について継続して注意して、受注量にもよるができるだけ残業時間を少なくし、退社時間に差がないようにしていきたい。	一年中
		・エアコンのフィルター掃除をしたい。1台のエアコンを変えて、ファンヒーターをやめられるか検討したい。	5月
		・グリーンカーテンについては、昨年の方が適切と思われるので、その場所で5月になったら継続して設置作業を始めたい。	5月
		・蛍光灯の交換時期にLEDにかえられないか検討したい。	随時
	ガソリン	・営業以外は、業務上発注者との連絡はメールなどを活用し、不必要に出かけることのないように心掛ける。	随時
		・タイヤのエアチェックと、燃費計算をする。	一年中
灯油	・目標が達成できるよう、途中使用量を掲示する。	冬季	
廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル分別処理の徹底。 ・紙の廃棄量の削減。 ・土木資材カタログ等の整理をして、見やすいようにする。 ・CADソフトの統一による、作業時間の短縮に繋げたい。 	一年中	
		5月～8月	
水使用の削減	・電気ポットには、無駄な給水はしない。退社時に、捨てるお湯を何か有効利用できないか考える。	1年中	
	・水道の不具合がないか、こまめにチェックする。		
グリーン購入	・引き続き消耗品は「グリーン商品」の購入に努める。	1年中	
環境保全活動の実践	・清掃活動を継続する。	4月	
	・森林保全活動の計画をたてる。	6月～9月	
環境に配慮した設計	<ul style="list-style-type: none"> ・施工時の掘削等により裸地化が見込まれる部分においては、伏工等による早期緑化を提案し、緑化の進行による景観形成を心掛ける。 ・現地発生材の有効利用を常に心掛け、治山ダム工の洗掘防止対策には現地発生転石の石張等を検討する。 	1年中	

『環境保全活動の実践』



H29. 5. 9 歩道の清掃、草取り、ゴミ拾い ゴミの量は19.91 k g
・清掃活動の様子



今年は、マンデビラを色違いで植えました。
・グリーンカーテン設置



・救命講習

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認

遵守確認	
確認日	H29. 10. 1
確認者	河合

活動期間（平成28年10月～平成29年 9月）

法規・条例・規制等の名称	当社に該当する事項	実施事項	遵守状況	評価の結果
測量法	業務活動に必要な法規	現地測量の際、立ち木の伐採や土地の立ち入りでの注意事項	○	監督員と十分に協議し、注意を払った。
森林法	開発行為の許可	法面の設計において林地開発許可審査基準を遵守して環境保全を図る	○	
環境基本法	環境保全に関わる一般的な努力義務	省エネ活動、清掃活動 など	○	草取り、側溝の掃除を実施しました
廃棄物処理法	分別、廃棄処理等	事業系一般廃棄物は藤枝市に、紙類は古紙回収業者に委託	○	問題なく計測処分しました。
循環型社会形成推進基本法	廃棄物の発生抑止循環的利用適正処分国・地方公共団体の施策に協力	3Rへの努力	○	積極的に努力、協力しました。
グリーン購入法	グリーン購入の推進	事務用品の購入	○	グリーン購入に努めました。

※遵守状況は「○」は遵守とする。

[1] 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は無い。尚、法規においては、改正に関する定期的な確認を行い、日頃から情報収集に努める。

[2] 訴訟等の有無

過去三年間において関係機関からの指摘、地域住民等利害関係者からの訴訟は無し。

[3] 今期1年間、近隣住民からの苦情・要望等は無し。

IX. 代表者による評価と見直し

本年度でエコアクション21への取組みも4年を経過し、これからの目標を再検討していきたい。

・電力、ガソリンの使用量は、目標が達成できた。今期は受注件数や売上が前期とほぼ同じだったのに対し、目標が達成できたのは全員の協力と取組への認識の向上の成果だと思う。

車を1台買い替え、燃費が良くなったのも良い結果であった。

・灯油使用量は、増加してしまい目標未達になった。石油ファンヒーターからエアコンに買い替えるなど、今後の課題としていきたい。

業務量と直結する項目だが、業務の平準化、作業効率の改善などを取り入れた目標も考えていきたい。

・環境保全活動の取組みとして、志太消防本部の方による救急講習を行い、現場作業時のもしもの時の応急処置や、身近なものでの応急対応などを全員で聞き、良い勉強になった。

グリーンカーテン、清掃活動も定着してきて、道行く方や近所の方から、挨拶して頂けるようになり、今後も計画的に取り組みたい。

・今年度、どのようにしたらエコアクション21を通じて仕事の効率向上や、経費削減などを経営に反映させていけるかという課題の中で、思うような計画がたてられなかった。しかし、環境活動の取組みをしていく中で、電力使用量を減らす＝作業効率を上げる事＝ある程度分けられる作業は分担する＝残業時間を減らすことにもつながり、続けてきたからこそ発見できた事もあり、社内のコミュニケーションにもつながった。今後も、多方面での可能性を視野に入れながら取り組んでいきたい。また、社内だけでなく、近隣地域や測量作業現場付近でもできる活動を続けてCO2排出量の削減に努力していきたい。

平成29年11月28日

株式会社 奥平測量設計事務所

代表取締役 奥平慎太郎